目指す学校像	「温かい学校 感動あふれる学校」 ・時を守る ・場を清める ・礼を正す
--------	-------------------------------------

重点目標	1 確かな学力の育成と「生徒の個別最適な学び」や「探究的な学び」に向けた授業改善 2 生徒が主体的に活躍する教育活動の実施と生徒一人ひとりを大切に作る安心・安全な支援体制の推進 3 地域の学校を目指した教育活動の推進と積極的な情報発信 4 指導力向上を目指した学び続ける教職員と働き方改革の推進
------	--

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校自己評価							学校運営協議会による評価		
年度目標			年度評価				実施日 令和 年 月 日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	<現状> ○全国学力・学習状況調査 (R4) では、国語が全国平均と同じであったが、数学は全国・市ともに平均に達していない。また、市学習状況調査では、全教科とも市平均に達していない状況である。 ○市の学習状況調査 (R4) において、各教科の勉強が好きであるかに関する質問に肯定的な回答をした生徒の割合は、市平均と比べ国語、社会、理科でやや高く、数学、G・S でやや低い。 <課題> ○市の学習状況調査 (R4) の結果概要から、各教科のどの領域についても課題が見られ、既習事項の定着が必要である。 ○生徒アンケート (R4) の結果、「家庭学習をしている」に対する肯定的な回答が7割強である。一方、市の学習状況調査 (R4) では、「家で自分で計画立てて勉強をしている」に対する肯定的な回答はそれほど高くない。家庭学習の取り組み方について、その意義や勉強方法について意識を高めさせる必要がある。	・確かな学力の育成 ・「個別最適な学び」や「探究的な学び」に向けた授業改善	①各種調査の結果に基づいた各教科における本校の学習課題を明確にし、授業内での帯学習等による継続的な取組を行う。 ②スタディサプリを活用した家庭学習の習慣化並びに定期テスト前質問教室の実施と学習スペースの設置。	①学校評価 (生徒・保護者アンケート) 「授業は楽しく分かりやすい」について、肯定的な回答が 90%以上となったか。 ②市の学習状況調査「家で自分で計画立てて勉強をしている」に対する肯定的な回答の割合が昨年度を上回ることができたか。					
2	<現状> ○生徒アンケート (R4) の結果、「学校生活は楽しい」に対する生徒の肯定的な回答は 93%である一方、「学校に行くのが楽しい」の質問に肯定的な回答をした生徒の割合は、全国平均を大きく上回っている一方、市平均では下回った学年も見られた。 ○市の学習状況調査 (R4) において、「自分には、よいところがあると思いますか」に対する肯定的な回答は市平均をやや下回っている。 ○施設・設備に係る安全点検は定期的に行われているが、修繕が必要な個所の対応が十分できていない。 <課題> ○自己肯定感や自己有用感を高めるために、達成感を味わわせられるような生徒主体の取組を積極的に取り入れる必要がある。 ○生徒一人ひとりの状況を踏まえ、よりの確かな支援や相談を行う体制や組織作りが課題である。 ○定期的な安全点検に加え、ミスを未然に防ぐ視点をもった危機管理意識を高めていくことが課題である。	・生徒が主体的に活躍する教育活動の実施 ・生徒一人ひとりを大切に作る安心・安全な支援体制の推進	①学校行事等において、生徒が話し合いの場で主体的に意見を発表したり協議したりする場を積極的に設け、生徒自身が決めた内容を盛り込んだ取組を積極的に実施する。 ②生徒の達成感や満足度を調査するためのアンケートも実施する。 ③自分自身の行動に責任をもつエイジェンシーの育成を図る。	①生徒が主体的に意見を発表したり協議したりする場が積極的に設けられたか。 ②心と生活のアンケートにおける「信頼自己」の項目の割合が昨年度を上回ることができたか。 ③学校評価 (生徒・保護者アンケート) 「学校行事等」について、肯定的な回答 95%以上となったか。					
3	<現状> ○コロナ禍の影響もあってか、市の学習状況調査 (R4) の「今住んでいる地域の行事に参加していますか」や「ボランティア活動に参加したことがありますか」に対する肯定的な回答は、市平均を大きく下回っている。一方、「地域の人たちは、自分たちを見守り、支えてくれている」に対する肯定的な回答は、市平均を上回っている。 ○朝のあいさつ運動やチャレンジスクール等の様々な場面で、PTA や地域の方々に多大な協力をいただいている。 <課題> ○コミュニティ・スクールを中心として、生徒が地域で積極的に活躍する場を設けていく議論を積極的にすすめる必要がある。 ○学校だよりやホームページに加え、生徒の活躍している様子を地域に積極的に発信するための手段等について検討する必要がある。	・地域の学校を目指した教育活動の推進 ・地域への積極的な情報発信	①学校運営協議会において、生徒が参加できる地域の活動場面の情報提供を依頼するなど、学校外での生徒の活動場面を増やす。 ②保護者や地域の方々々が授業や学校行事を参観できる機会を昨年度より多く設定する。	①学校評価 (保護者・地域アンケート) 「開かれた学校づくり」について、肯定的な回答 95%以上となったか。 ②保護者や地域の方々々が授業や学校行事を参観できる機会を昨年度より多く設定できたか。					
4	<現状> ○昨年度研究発表を行った「読解力向上」に加え、教科横断的な視点に立った授業改善に向けた研究を行っている。 ○授業時における ICT の活用について差が見られる。 ○教材研究や生徒指導・教育相談等の業務に熱心かつ確実に取り組んでいる一方で、勤務時間の削減が図れていない。 <課題> ○生徒自らが ICT を主体的に活用した授業づくりが課題である。 ○業務のより一層の効率化並びに軽減が必要である。	・指導力向上を目指した学び続ける教職員 ・業務の効率化並びに軽減に向けた働き方改革の推進	①キャリア振り返りシートに基づいた受講奨励を行い、研究発表会や研修会への参加を積極的に推進する。 ②アクティブ・ラーニング型並びに教科横断的な視点に立った授業改善に向けた公開・研究授業、校内研修を実施する。 ③業務の見直しをもち、定時退勤日の設定を増やす、年休の取得日数10日以上設定するなど、メリハリのある勤務を推進し、在校時間の削減を行う。	①全教職員が研究発表会または研修会に参加できたか。 ②アクティブ・ラーニング型並びに教科横断的な視点に立った授業改善に向けた公開・研究授業、校内研修を実施できたか。 ③定時退勤日の設定と実施、年休の取得日数を増やすなど、在校時間の削減が図れたか。					